

批判的思考

校長 安部成年

元日の能登半島地震により被災された方々に謹んでお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復旧・復興を心よりお祈りいたします。今は義援金の送金ぐらいしかできずなんとなく申し訳ないような気もしますが、「現地に駆けつけてボランティア活動を行うことができなくても、今ここでやるべき自分の仕事や責任を確実に果たすとともに税金を納め、この国をしっかりと支えることが被災者の支援につながるのだ」と私は思うことにしています。

さて、2月14日には高校の卒業式を行います。高校Ⅲ年生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。これまで楽しいことや辛いことなど様々なことがあったと思いますが、それらの経験によって培った力を糧として、引き続きいろいろな事に積極的にチャレンジしていきましょう。今後のさらなる成長と活躍を祈念しています。

ところで、今や誰もが自分の意見や情報を自由にネット上に流すことができる時代となったので、ネット上には間違っただ情報もかなり流れているようです。ネットに限らずマスメディアが流す情報にも、鵜呑みにすべきではないものがあるようですので、「批判的思考」をする姿勢と能力が今とても重要になってきています。

「批判的思考」の「批判」は、批評し判定するということで、善悪とか是非について分析・吟味し評価することを意味しています。だから「批判的思考」とは、得た情報などに対して、証拠に基づき偏りなく論理的・客観的にその是非を自分の頭で考えるということだといえます。

新聞やテレビニュースの情報でも、時として無条件に受け入れるべきではないと思われるものがありますが、間違っただ情報や偏った情報が平気で流されているインターネットの世界では、情報の取捨選択や吟味についてさらに注意が必要となるはずで

す。いい加減な情報に騙されたり踊らされたりしない、もしくは分かったうえで踊るためには批判的思考力が必要となりますが、それを支えるのは、正しく豊富な知識・教養と論理的・合理的に考える力です。そして、それらを身につけるために、今生徒の皆さんは各教科の学習に取り組むとともに、様々な経験を積んでいるということになります。情報が錯綜する時代にあって私たちは、人から傷つけられないために、そして人を傷つけないためにも、批判的思考力を高めていく必要があると思っています。



高校卒業生に贈る言葉



増田康子先生 (学年主任)

人生は瞬間の積み重ねです。一瞬のひらめきや直感での選択により、運命が決まることもあるでしょう。しかしながら人生は長い。夢を叶えるために、長いスパンで日常生活を見直し、自分の運命を変えるのはいかがでしょうか。「心(意識)が変われば行動が変わり、行動が変われば習慣が変わり、習慣が変われば人格が変わり、人格が変われば運命が変わる。」何か壁にぶつかった時、試してみてください。

ご卒業おめでとうございます。今後のご活躍を楽しみにしています。

波多野慎二先生 B組(総合進学コース)担任

高校時代の良さは在校中にはわからない。卒業後、数十年経って、長崎の丘を見上げて赤い屋根の建物を見たときに思い出すぐらいでいい。ああ、私の母校だったと思った時に友の顔が浮かび、いい思い出だけを思い出したらいい。何も考えずに生きていた、何も心配なく過ごしていた。誰に感謝することなく、当たり前で権利だと思って、自由を謳歌していた。それでいい。それがこの学校の思い出でいい。



平尾淳一先生 A組(英語科)担任

活水では当たり前になっていたことが自分にとって光り輝く宝物になると思います。みんなの素直で興味関心に満ち満ちた姿はとても素晴らしかったです。将来もそこで宝物を見つけていってください。



津留美幸先生 C組(総合進学コース)担任

ご卒業おめでとうございます。文化的な活水での学校生活は、楽しかった思い出と一緒に、いつまでも皆さんの心を明るくしてくれると思います。卒業後も自分らしさを大切に活躍してくれることを願っています。



草野深音先生 A組(特別進学コース)担任

卒業おめでとう！私の最初の活水3年間は、みんなと共にあります。東京ヤクルトスワローズは2連覇しました。修学旅行、とっても楽しかったね。さいっこの思い出をありがとう!!!!



奥山忍先生 D組(総合進学コース)担任

「人間万事塞翁が馬、禍転じて福となす」長崎の、活水という学校で、皆さんと出会えた奇跡に感謝です。「あの経験があったからこそ、今の自分がある」ということが人生ではよくあります。長いスパンで物事をとらえること、様々な視点から考えることを大切に豊かな人生を歩んで下さい！



- 2月行事予定
- 3(土) 高Ⅱ模試(～4日)
 - 6(火) 高Ⅰ特進土曜課外
 - 7(水) 高Ⅰ女子大学パネルディスカッション
 - 8(木) 高Ⅱダンス発表会
 - 9(金) 中2進学・修学旅行説明会
 - 10(土) 第3回漢字検定・高Ⅲワックス
 - 11(日) 学校医による健康相談
 - 12(月) 高ⅠⅡ特進土曜課外
 - 13(火) 振替休日
 - 14(水) 建国記念の日
 - 18(日) 振替休日
 - 21(木) 振替休日
 - 23(金) 振替休日
 - 27(日) 高ⅠⅡ学年末考査(～27日)
 - 28(水) 中学学年末考査(～26日)
 - 29(木) 天皇誕生日
 - 31(土) 中学特別行事
 - 3月1日(日) 中2修学旅行(～3月1日)



中学「百人一首大会」

1月18日(木)6校時に中学「百人一首大会」が開催されました。毎年恒例で、今年は柿本鈴麻呂(鈴田先生)を読み手に迎え、学年ごとに一枚でも多くとろうと熱戦が繰り広げられました。お気に入りの句を取った時の喜んでる姿が印象的でした。これからも日本文化を大切にしていきたいものです。(長門祐二)



中学一年	優勝	松本花さん	38枚
中学二年	優勝	宮崎結花さん	42枚
中学三年	優勝	世古綾菜さん	55枚

中3「薬物乱用防止教室」

1月25日(木)6校時に学校薬剤師の井上貴子先生が来校され、大麻などの薬物やタバコの害について詳しく説明してくださいました。



(濱口未希)

(生徒の感想)

子どもは大人よりもニコチン依存になりやすく、やめようと思ってもやめられないことが分かりました。一回だけ使用しても、自分の意志ではやめられなくなるので、友達に誘われても断ることが大切だと改めて実感しました。大切な人や自分を守るためにも何を言われても断るようにしたいです。

高II「携帯マナー講座」

1月31日(水)LHRを使って高校II年生はNTTから講師を招いて携帯マナー講座としてインターネットの安全安心な使い方の話をいただきました。昨今SNS絡みのトラブルが全国的に言われていますが、どうしてそういうことが起こるのかをいくつかのパターンに分けて説明していただきました。自分にとっては何の気なしでUPした画像が実は重大事態になることがあることを学び、生徒にとってはとても良い注意喚起の場になりました。(平野智也)



バレー「新人大会第3位」

バレーボール部は県高校新人大会に第7シードとして出場しました。9人しか部員がいませんが、ケガや体調不良でギリギリの人数の状態でした。順調に勝ち進み準々決勝で第2シードの創成館と対戦しました。一進一退の攻防が続きフルセットの大接戦でしたが、逆転で勝利を収めました。準決勝、シード順決定戦は力尽きて負けましたが、7年ぶりに九州大会に出場することになりました。応援ありがとうございました。(平野智也)



吹奏楽「VスポーツDAY～長崎ヴェルカ・Vファーレン長崎とともに～」

1月21日(日)に出島メッセで行われたバスケの長崎ヴェルカライブビューインハーフタイムショー演奏、そしてVファーレン長崎新年会演奏を行いました。どちらも熱気に包まれる中、生徒たちは衣装を身に付け晴れやかに堂々と演奏しました。スポーツイベントでの演奏は初めてでしたが、盛大な拍手をいただきほっとしました。新しいスタジアムができることで、今年はスポーツとの出会いがある事を楽しみに、練習を積み重ねていきたいです。(杉町たまみ)



大会等成績

<新体操>

長崎県新体操演技会

シニアの部

団体	1位	城野・増浦・上村・近藤・遠藤
個人総合	フープ	3位 小林瑠奈
	クラブ	3位 城野にこ

シニア高2の部

個人フープ	1位	小林瑠奈
	2位	増浦寧
個人ボール	1位	上村瑠花
個人リボン	1位	城野にこ
	2位	上村瑠花
	3位	小林瑠奈
個人クラブ	1位	城野にこ
	2位	近藤未昊

シニア高1の部

個人ボール・クラブ	1位	遠藤心花
-----------	----	------

ジュニアの部

個人総合	クラブ	1位	松村星彩
		3位	大石二奈
	リボン	1位	大石二奈
	ボール	2位	松村星彩

ジュニア中2の部

個人	フープ	1位	近藤晏名
	クラブ	1位	松村星彩
	ボール	1位	松村星彩
	リボン	3位	近藤晏名

ジュニア中1の部

個人	リボン	1位	大石二奈
	クラブ	1位	大石二奈
	フープ	2位	谷口玲奈
	ボール	3位	谷口玲奈

<音楽>

長崎県アンサンブルコンテスト

中学校の部	クラリネット三重奏	金賞
並びに	長崎県代表推薦	世古・松倉・宮崎
高校の部	木管八重奏	金賞
並びに	長崎県代表推薦	本山・山口・宮崎・荒嶋 北村・堤・山田凜・山田莉

JBA九州ソロコンテスト予選

JBA長崎県ソロコンテスト

木管(フルート)	金賞	
並びに	長崎県代表推薦	新永陽
金管(トロンボーン)	金賞	石崎小梅
木管(サクソフォン)	金賞	巽悠久美

<弓道>

長崎県弓道新鋭王座決定戦

女子の部	優勝	川田心晴(「女王」称号受領)
	6位	中山梨優
	9位	山中優

<お題解決同好会>

高校生条例案コンテスト

奨励賞・長崎OOLOVERS賞	田中・津田・村本・中島
-----------------	-------------

<バレーボール>

長崎県新人体育大会 バレーボール競技 女子3位

<長崎県教育委員会表彰>

学校文化活動等	木場笑里(弁論)
---------	----------

<長崎県高等学校文化連盟 生徒表彰>

吹奏楽部(吹奏楽コンクール マーチングコンテスト)	木場笑里(弁論)
---------------------------	----------

<卒業生顕彰>

長崎県高等学校文化連盟	卒業生顕彰	石田彌月
長崎県高等学校体育連盟	卒業生顕彰	古野花蓮
私立中高連合会	卒業生表彰	藤井和花



今月の聖句 「安心していきなさい。」(マルコ5:34)

長い間病気が治らない女性がいました。全財産を使い果たし、何人ものお医者さんに診察してもらった。あれこれと試してみましたが、一向によくなりません。女性は、つらく苦しく、そして不安な毎日を送っていました。ある日、病気を治してくれると評判のイエス様がやって来ることがわかりました。イエス様は大勢の人に囲まれていました。女性は、勇気を出して人を押しのけ、イエス様の後ろに近づき、服に触ったのです。するとイエス様が「私の服に触れたのは誰か」と問いかけられました。そして続けて「娘よ、あなたの信仰があなたを救った。安心していきなさい」と言われました。女性は長年抱えていた病が治り、安心して新たな生活への出発をすることができたのです。それは、一人の出発ではなく、主イエス・キリストと共に旅立つ出発でした。

高校3年生のみなさんは、間もなく高校生活の終わりを迎えます。「安心していきなさい」イエス様の言葉がみなさんの新しい一歩を踏み出す力となりますよう祈っています。(常泉晶子)